

## 令和6年度第1回防府市図書館協議会

日時：令和6年7月5日(金) 午後2時～午後3時30分

場所：市役所1号館 4階会議室

### ■出席者

(委員)藤村会長、安光副会長、岡田委員、宮崎委員、杉山委員、新田委員、山崎委員、吉武委員、津田委員、有吉委員 (計10名)

(事務局)江山教育長、高橋教育部長、松田教育総務課長、幸田図書館長、御手洗図書館管理室長

### ■傍聴者 1名

### ■議事録

### ○事務局

定刻になりましたので、ただいまから「令和6年度第1回防府市図書館協議会」の方、開催させていただきます。

それでは、防府市図書館協議会の会則、第3条第1項に「会長は会議の議長となる」と定められておりますので、これからの会議につきましては、藤村会長に議事進行をお願いしたいと思います。

### ○議長

はい。それでは、会議がスムーズに運べますように、御協力をお願いいたします。

では、今回の会議につきましても、前回と同様に、会議および会議記録につきましては、「公開」ということでよろしいでしょうか。

(異議なし)

では、異議なしということで、公開で進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。これより議事に入ります。議題1「令和5年度事業実施状況の評価」について、事務局から説明をお願いします。

### ○事務局

はい。資料についてです。資料1は、委員の皆様の委員評価でございました。

資料2の実施状況評価表で説明をする形で、この度は進めていこうと思っております。

「令和5年度事業実施状況の評価」についてですが、令和5年度の図書館の事業実施状況に対する自己評価が、まず図書館から出てきました。それを委員の皆様にお送りし、コメントをいただきましたので、資料1としてまとめております。同じ趣旨のコメント等については、ある程度まとめさせていただいて

おります。

本日の会議の目的は、現在、**資料2**の各項目、大きな項目の最後のところに図書館協議会の意見(案)としている部分について、意見をまとめていただくこととでございます。この図書館協議会の意見(案)欄は、事務局で要約し、各項目の(1)から再分類の順に並べたものを入れております。

この評価表は、市のホームページで公開いたしますので、内容や表現について御意見を伺いたいと思います。まず、1から7の項目ごとに図書館長から事業の実施状況と図書館の自己評価について御報告をし、続いて事務局から協議会としての意見案について御説明いたします。

その案について、委員の皆様のお意見をいただければと考えております。

○議長

はい。では1番からお願いします。

○館長

最初に御挨拶させていただきたいと思います。4月より防府市立防府図書館館長を拝命しました、幸田と申します。皆様どうぞよろしくお願ひいたします。さらに今日はどうぞお手柔らかにお願いいたします。では着席で話させてもらいます。

では、項目の1、タイトル等は読みませんので、番号を言っていきます。トピックスのみ、ゆっくり報告してまいります。

#### **1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館**

大項目1番、利用実績でございます。令和5年度館外貸出者数が135,478人、これは令和4年度とほぼ同等でございました。館外貸出冊数は510,519冊で、これも令和4年度並みでございました。そして、電子書籍の貸出冊数が11,060冊で、これが令和5年度の利用実績でございます。

そして①番、資料収集業務ですけれども、「防府図書館資料収集要綱」に基づきまして、適正な選書収集を行っております。図書購入冊数8,964冊、視聴覚資料購入点数130点、電子書籍購入冊数896冊ということになっております。

続きまして、1-(2)の④サービス環境整備・安全対策・危機管理業務の2点目、図書館まつりが行われまして、図書館まつり実行委員会より「スチール製紙芝居架」を2台、寄贈いただきました。これを紙芝居コーナーに設置して、よりサービスを充実させたということとでございます。

続きまして、1-(3)図書館から遠い所に住んでいる人へのサービスとして、①移動図書館車「わっしょい文庫」の運行については、常時3,500冊の図書を積載して、6コース37ステーションを2週間に1回の周期で回っております。また、移動図書館車は、「大道まつり」や玉祖小学校の生活科の授業に臨時出

張サービスを行っております。

同じく(3)の②電子図書館運営業務の2点目、小野中学校と右田小学校で、子どもたちが電子図書館を利用するために、利用者カードを作ってほしいという要望がありました。年明けに申し出があった以降、2月3月には電子図書館の貸出冊数が非常に増加しております。

1番につきましては以上ですが、特に、図書館協議会の皆さんからの御意見の一つで、地震に対する本棚の安全はどうなっていますかという御質問がございました。

ルルサスは平成18年、2006年にできており、現行の耐震基準が2000年ですので、現行の耐震基準に十分合致しております。すなわち、ルルサスの構造は、震度6強程度の大地震が来たとしても倒壊、崩落はしないという造りになっております。実際に、私が就任しました4月以降、4月17日の夜半に震度4の地震がございました。翌朝行ったところ、児童書が数冊落ちているのみでございました。

地震によっては状況が異なるかもしれませんが、4月の状況はそのような形で一般書は一切落ちていませんでした。地震に関しまして棚が壊れるようなこともなく、御安心をいただければと思っています。

#### ○事務局

それでは、資料2の4ページのところをご覧くださいませ。

図書館協議会の意見のところがございます。すでに資料を見ておられるという前提でお話をさせていただきます。

時間も限られておりますので、皆様の御意見を全て読み上げることはせず、進めてまいりたいと思います。

まず、大項目1の図書館サービスについては、特に1-(2)ホームページやインスタグラムに係る評価、それから電子図書館についても貸出が順調なことから評価を得ております。

一方で、課題や要望が出ております。1-(1)館外個人貸出冊数は、人口1人当たり5冊以上というのが望ましいという課題が出ておりました。

それから、1-(2)電子図書館のさらなる普及についての要望、1-(4)のところには職員研修について、ベテランの職員から新人職員への研修をしてほしいという要望やレファレンスサービスの周知についてなどの要望が出されています。

以上、図書館協議会の意見案に対する皆様の御意見を伺いたいと思います。

#### ○議長

はい。では、ただいまの御説明に対して御質問、御意見ございましたら、お願いいたします。

図書館の場合は、今、雑誌は市内の書店から買っておられるのですね。

○館長

文栄堂からです。新しいものが着き次第、朝届けていただいております。

○議長

文栄堂の外商部からです。

雑誌が約 300 誌、400 万円ぐらいになるのです。

他にございますか。

それと、これは図書館の問題ではないかもしれませんが、市の広報の作成方法が変わってきましたね。行事に関しては、1日号に全部集中して出すということで、お知らせが多くて30ページぐらいになっています。読むのも大変ですが、原稿を出す方が1か月にいっぺんだと、かなり前にイベントのお知らせなんかを出稿しないといけないかと思いますが、そのあたりはどうですかね。間に合わせれば良いことではありますけど。

○図書館職員

これまでは15日号がありましたので、募集の場合とか、その日に近い日付に合わせて計画的にやっていましたが、今は、1日号だけになりましたので、それに合わせて募集の日を設定するというふうにさせていただいています。できることをできるだけ丁寧にやっていっていることなのではけれども、15日号があった方が、情報は伝わりやすいのかなと現場としては感じておりますが、市の方針がそうなっているので、従ってやっているところです。

○議長

市の広報課としては、将来的には、ホームページでお知らせするような形に考えておられるのですよね。それはよろしいですが、いずれにしても2か月ぐらい前から出稿しないとイケなくなるのではないかと考えております。市の広報の中に、アンケート欄もあることはありますが。

他に何かありますか。

○委員

それでは二つ質問いたします。

もうすでにここに上げていただいておりますけれども、避難訓練についてお聞きしたいと思います。消防避難訓練について、図書館単独でも行っているし、ルルサス防府全体でも行っていると書いてありましたが、利用者も一緒に訓練をされたのでしょうか。実際は利用者の方がいらっしゃる時に、災害が起こると利用者の避難の必要があるかもしれないので、職員だけでやるのではなく、一緒に訓練をされたのかについて質問をさせていただきました。

○図書館職員

図書館単独の避難訓練に関しましては、蔵書点検等の休館日に行っております。

すので、利用者の方は参加されておられません。

ルルサス防府全体の訓練につきましては、開館時間中に放送が流れるので、良かったら一緒に避難してください、というお声掛けをしていますが、実際に図書館におられる方は、本を借りに来られているので、ほとんど参加される方がいらっしゃらないというのが現実です。

○委員

はい。どうもありがとうございました。

実際は利用者が、どの程度参加されるのかというのが気になったので、質問させていただきました。

もう1点は、今日になって気が付いた質問で、資料に掲載されておられません、どうしてもお聞きしたくて、直前に連絡をした件です。

国立国会図書館から出ている、カレントアウェアネス(図書館についての情報)の中に、ある図書館の未返却図書についての記事がありました。先ほど会長にお聞きすると、会長が在職の時から未返却図書については、督促は、いろいろな方法で行っていたということですが、利用者側からすれば、見えていない部分があるので、例えば、どの程度あるのかとか、どういう対応しているのかということ、簡単に御説明ください。今日質問して、今日お答えいただくのは大変恐縮なのですが、よろしく願いいたします。

○図書館職員

未返却資料と考える期間等の定義が、よくわからなかったもので、簡単に調べてきたのですがけれども、2022年4月1日から2023年4月1日まで貸出しのままになっている資料は、ざっと15冊ぐらいでした。

それとは別に、棚からいつの間にか無くなっていて見当たりません、という資料については、5年ぐらいは探していて、それを泣く泣く除籍するのですがけれども、これがだいたいある年では20冊30冊ぐらいで、無い時は全くゼロの年もあります。

今日、委員御質問のカレントアウェアネスの記事には、ある図書館の未返却本が2万冊と書いてあったので、非常にびっくりしたところです。何がどうなったら、2万冊になるのかがさっぱりわからないのですが、防府図書館については、数が増えて図書館の運営を圧迫しているということはございません。

それから、督促の手順等も簡単に御説明しますか。

○委員

どんなことをされているのかということ、簡単に説明していただくだけで結構です。

○図書館職員

まず予約がついているものが最優先で督促をしております、これはメール

や電話などで直接利用者の方に連絡しております。なるべく早く連絡するようになっておりまして、週1回リストを出して督促をしています。

それとは別に、借りっぱなしになっているが、忙しくて忘れていたという方も一定数いらっしゃいますので、これについては期間を決めて、3か月に一回とかそういった形で、はがきで発送させていただいております。

#### ○委員

防府図書館では、15冊とお伺いしまして、素晴らしいと思います。私は大学図書館におりましたので、未返却についてもよく理解できます。公立図書館では、どこまで追っかけられるのかというところが気になりました。

国立国会図書館の記事は、足立区立中央図書館で、2000年代のある年に、区内の15館の図書館全ての未返却本の合計が2万冊になっているということです。計算すると、蔵書数の2.2%もの本が未返却だったようですが、いろんな措置をされて、ずいぶん減ってきているという内容でした。

しかし、防府図書館のように到底15冊とかという話ではないです。トラブルがあれば弁護士さんが出てくるとかいう話になるのかと思って心配していました。

紛失についても、無いに越したことはありませんし、未返却も0冊がいいと思いますけれども、防府図書館はきちんとされていると安心しました。

#### ○議長

大都市圏の図書館は、未返却はもちろんです。紛失図書も多いのですよね。盗難防止装置、ブックディテクションシステム(BDS)がついてはいるのですが、それを走り抜けるような人もいます。だからBDSのところガードマンがいたりするところもありますね。いろんな図書館があります。

それから質問の中で、電子図書館の利用状況というのがありますけれども、これは年報の23ページに出ています。利用状況は順調のようですね。

他に何かお気づき等ございましたら。

私自身はSNSなどを使ってないのですが、インスタグラムの利用状況はいかがですか。

#### ○館長

インスタグラムは随時更新をしております。7月4日現在まで、投稿数は181、フォロワーは157人となっています。図書館らしい投稿をしております。

実際、反応が良かったのは、直木賞作家の佐藤究先生が来館された時とか、ミニチュア作家のミニチュアライフ展をアスピラートでやったのですが、それに合わせて図書館の中でも、副館長が作ったミニチュア展示をやっていました。その状況につきましては、非常に反応が良かったと聞いています。

○議長

はい。図書館まつり実行委員会から、スチール製紙芝居架が2台寄贈されましたね。

○委員

とっても場所も良かったし、工夫されていまして安心しました。お世話になりました。

○議長

ありがとうございます。紙芝居架のところも以前に比べると、だいぶ利用しやすくなっていますね。図書館としても、いろいろ工夫されているようです。

それでは2番についてお願いします。

○館長

#### 2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

引き続きまして2番にまいります。2-(1)の①でございますけれども、ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務としまして、5月28日には第12回「防府市子ども読書フェスティバル」、それから10月29日には第33回「防府図書館まつり」を実施しております。非常に多くの方にお越しいただきまして、盛況だったというふうに聞いております。

(2)の①ボランティア活動推進業務ということで、「防府図書館ボランティア連絡会議」を1月25日に開催しまして、現状と課題、意見交換をいたしました。

更にですね、「図書館ボランティア養成講座」を2月に4回行っております。

特に当協議会の意見案の中で、『図書館年報』令和5年度の中には、高校生がイベントなどに参加したと書いていないという御指摘をいただきました。確かに確認したところ「図書館まつり」には、市内の高校生ボランティアがたくさん来てくれてまして、お手伝いをしてくれたというのを聞いておりますので、今年度以降は、そういうお手伝いがありましたらば、ぜひ書き加えたいと思います。ボランティアのサークルの方々だけではなくて、高校生ボランティアの方も来ていただいているということになっています。

今年度も来てもらおうと思ひまして、市内の高校のボランティア部やインターアクト部の方に、先生にぜひ御協力をお願いしたいということで最近回っております。

ただ、御意見の中に高校生がお手伝いという形ではなくて、自分たちで企画してほしいとあったのですけれども、そもそもフェスティバルとかおまつりというのは、図書館で活動されている団体、あるいはサークルの方々の発意で開催されておりますので、位置づけとしましては、そのイベントに高校生さんが

お手伝いで来てくださるというふうなことだととらえております。

もちろん高校から、何かやりたいというお申し出があれば、検討はさせてもらうのですが、そもそもフェスティバルやおまつりの位置づけがそういうことになっておりますので、今年もたくさんボランティアが来てくれるといいなと思っています。私からは以上です。

○事務局

資料2のp.5をご覧ください。図書館協議会の意見といたしまして、大項目2については評価も出ておりましたが、要望がかなり多く出ていたかと思えます。

2-1は「子ども読書フェスティバル」と「図書館まつり」が、毎年ボランティアと図書館が協働で開催できることについて、高く評価されています。

特に昨年の「図書館まつり」では、先ほど館長からお話が出ましたが、高校生の参加をいただきまして、図書館がそれを促したことについての評価だと考えております。

そして今後の展開については、いくつか要望が出されております。

一つ、資料1の方の委員意見の中に気になったところがありまして、皆さんにご覧いただけるかと思えますけれども、特に今年6月のフェスティバルは、最後の最後までたくさんの人たちが参加され、職員の方々とボランティアの方々に感謝しているというお礼のメッセージがありました。参加者が多かったのは今年フェスティバルで、去年は最後の辺りのイベントへの参加者が少なかったと聞いておりますので、おそらくこれは今年のことかなと思います。それで、全体の評価の方には入れておりません。1の方の資料の方もここは削除させていただこうと思っておりますので、よろしくお願ひします。

それから2-2につきましては、新たなボランティアとして、若い人への参加を広げるため、子ども対象のボランティア養成講座の開設や講座の内容についてなど、いろんな御意見や御提案をいただいておりますので、協議会の委員の意見として掲載しております。

以上、皆様の御意見を伺いたいと思ひます。

○議長

はい。では、ただいまの説明に対する御質問、御意見ございましたら、お願ひします。

○委員

二つあります。一つは先ほど、高校生云々という意見は、私が実は書いたのですが、せつかく高校生を巻き込んで、いろんな活動をされているので、防府市は素晴らしいと思っていたのに、年報にまず出てこないというところが残念です。やっぱり残っていくものには、ぜひ高校生の参加があったのであれば絶

対入れてほしいということです。

もう一つは、館長が先ほどおっしゃったサークル活動してないからお手伝いということはわかるのですが、やっぱりお手伝いって言って欲しくないのですよ。お手伝いだったら高校生は楽しいでしょうか。参加した時に、何かその場だけの楽しさというよりも、実行委員会に入っていないから駄目だとか、サークル活動してないから駄目だと言わずに、もうちょっと広げていくとか、何か模索されてはどうかと思います。高校生も実行委員に入ってもらえば、将来大人になる高校生もサークル活動をしなからお手伝いというのではなく、ちょっと知恵を絞る、お金はなくても知恵を絞るってところがとても大切ななと思ったので、少し前向きに考えていただきたいと思います。

それから、最後のところの新規加入者は確保できたのですかというのも、私を書きましたが、なかなか難しいと思います。私もいろんなところに関わっておりますが、若い人の加入が難しい。だから先ほど高校生も巻き込んで、大学、社会人になってから、外に出ても防府に戻ってきた時に、何か関わりたいなと思えるような土壌が必要じゃないかなと思いました。

それで、新規加入者が確保できたかどうかについてお聞きしたいです。

#### ○図書館職員

お答えします。昨年度はサークルが1団体ほど増えています。ただ、おまつりとかフェスティバルの方には参加されていないという状況です。

今後も、もちろんサークルをどうやって増やしていくかということは、私どもの課題として、考えております。

#### ○委員

図書館でサークルをやっておりますが、図書館を通じて、新規の申し込みについては、年に一件、二件はあります。その方がお試しで来られて、そのまま続けていらっしゃる方もありますので、微増ということでしょうか。そういうふうなことで、図書館を通じてということではできております。

#### ○議長

共働き世帯が多くなって、なかなか若い方の参加というのが難しいですね。いろんなイベントに参加されても、サークルの中に入るとか、役員になるとか、そういった方はまた限られてくることになりますので、なかなか若い方の勧誘をしても難しいのが現状で、まあ現状維持の状況ですよね。ですから、高齢化の課題は残っております。

この度、毎年2月にやっているボランティア養成講座について、今年はサークル連絡協議会のサークルendaよりの中で、前館長が巻頭言の中で、令和6年度については、2月にLEDの交換工事が入って来そうなので、養成講座の開催がずれるというか、他の時期になるかもしれないということを書かれていまし

たが、いかがですか。

○館長

そのとおりでございます。今年度は、図書館のライトのLED化の予算が市についておりまして、工事が実施されるのですけれども、時期が年明けというふうに聞いています。おそらくその場合、閉館をせざるを得ないということで、ボランティア養成講座については、昨年度は2月に4回やったのですが、今年度は2回にすることにして、時期もすでに決まっております。第1回目は8月22日木曜日午後1時30分から午後3時まで、元館長の森川先生にお越しいただいて、「図書館ボランティアのための日本十進分類法」と題して、分類法の基礎知識の話をしていただきます。第2回目は11月14日の木曜日、これも午後1時30分から午後3時、元福岡県立図書館副館長の河井律子先生にお越しいただきまして、「お話し会の運営とプログラム作り」副題として、～子どもに本を手渡すために～ということで、すでに予定されています。

議長がおっしゃる通り、2月ではなく時期が前倒しになり、加えて2回しかできなくなりましたが、すでに予定をしております。

○議長

はい。わかりました。他に、御質問は、ございますか。はいどうぞ。

○委員

今、世の中は情報化と言われております。図書館もおそらくIT化がかなり進んでいるのではないかと思います。若者はみんな、スマホでいろんな情報とか人と繋がっています。これが次のネットワークなのかもしれませんが、何か情報化、IT化の世の中に、私どもはなかなかついていけないような、もう全く理解の外にあるように感じています。ここで質問していいのかわかりませんが、図書館の情報化も進んでいると思いますが、そのあたりの対応について、お聞きしたいと思います。

○館長

図書館の貸し借りという意味では、システム化が進んでおります。ただ今、委員がおっしゃるように、高校生と図書館がどう繋がっているかという話は、特段ネットワークとかでやり取りをしているわけではありません。ただ高校生は勉強するために足を運んでくれていますので、興味があるというか、そういう場としての活用はしていただいていると思います。

○委員

かなりネットワークというか、もう本当に身近なところでは、図書館に行かなくても利用できるような電子図書館がありますよね。

○館長

電子図書館は24時間いつでも利用できるのですが、図書館のカードがあって、

パスワードを設定してログインしていけば、いつでもどこでも1人3冊まで借りることができ、2週間が経つと自動的に返すということになっています。

実際には、後ほど子どもの話が出てまいりますけれども、小学生に、サービスをよく御利用いただいております。電子図書館の貸出冊数の7割8割が児童書になっておりますので、おそらくタブレットを持っているお子さんたちが、よく利用しているのではないかと推察されます。私は、まだ日が浅いものですから、しっかり分析したわけではありませんけれども、おそらく児童書が伸びているのはそういう背景だというふうに思います。

○委員

私の理解の外にありました。

○議長

リアル書店とネット書店の共存ということも申しましたけど、図書館関係につきましても、デジタルとアナログと両方の活字文化を活用していただければと思っております。

○委員

電子図書館については、今のお持ちの利用者カードでスマホとか、コンピュータから割と簡単にログインできるようになっていますよね。

○館長

できるようになっています。

○委員

新たに何かIDを発行してもらおうとかではなくて、カードを持ってらっしゃったらもうそれで利用できるのですね。

○館長

そうですね。

○委員

番号を入れるといいのですね。

○館長

ホームページがありますので、そこから入ってもらって、自分のパスワード等セットしてもらえたら、入れるようになっています。図書館のカードがないと駄目ですけどね。

○議長

はい。先ほど、ちょっとうっかりしていましたが、4ページの図書館協議会の意見のまとめ、それから5ページの、ただいま説明があった、5ページの図書館協議会の意見のまとめは、これでよろしいですかね。

とてもよくまとめてあると思いますけれども、これでの公表という形になりますが、よろしいですかね。

続きまして3番をお願いします。

○館長

3生涯学習の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書

館

それでは、大項目3の説明をいたします。3-(1)の①、イベント・懇談会業務でございます。

先ほども言いました、5月28日「子ども読書フェスティバル」では、絵本作家のよしながこうたく先生を講師にお迎えして、絵本の読み聞かせやワークショップを行いました。非常に盛り上がり、大好評だったというふうに聞いております。

「図書館ビブリオバトル」は、第1回目を11月5日に第2回目を3月10日に開催して、多くの参加の方、小さい方から大人の方まで参加いただいていると聞いております。

「月いちキネマ」につきましては、毎月1回行っております。映画の途中で映画にちなんだ本を図書館司書が選びまして、映画の途中でブックトークを行っています。

その次に、シニア向けの实用講座「大人のくらし塾」ということで、前期には「電子図書館体験会」、後期講座は「絵手紙講座」を開催いたしました。非常に好評を得たと聞いております。

そして、「防府図書館利用者懇談会」を11月30日に開催しました。これにつきましては、協議会の皆様から御意見をいただいております。参加者があまり多くないというような御意見、あるいはもう少し聞いてほしいというような御意見があったのですが、参加者は8名でした。時間は1人5分という時間ではございましたが、皆様に皆様の思いを、御意見をいただくという形をとりまして、特に、図書館に知縁のある方に加えて、新たな新規のお子さんをお持ちのような方も参加いただきまして、いずれの御意見も非常にありがたい御意見でございました。図書館の発展に資するものと認識しておりますので、8名というのが多くないと言われましたが、とても貴重な意見を多くいただきましたので、図書館としては非常に成果があったものというふうにとらえております。

続きまして②資料展示・展覧会ですけれども、こちらは、図書館の中でガラスケースに入った展示コーナーや中央カウンター前、あるいは児童カウンター前で、月に1回、テーマを決めて展示をしております。36回でございます。

そして新刊コーナーの横とヤング図書コーナーの前では、ミニ展示と称しまして、2週間にいっぺん、季節やテーマに合ったものを選んで展示をしています。これは延べ55回を開催しております。

○事務局

続きまして事務局からです。**資料2**の7ページをご覧ください。

図書館協議会の意見(案)のところでございます。大項目3につきましては、**資料1**の皆様の意見は、おおむね評価をいただいているものと考えております。

3-1については、生涯学習活動の拠点として様々なイベントを開催していると評価されています。

特に「子ども読書フェスティバル」におけるワークショップ、「ビブリオバトル」や「利用者懇談会」の開催についてです。ただし先ほど館長の方から、もうすでに回答がありましたけど、参加が多くないというような御意見が課題に挙がっています。

要望の内容といたしましては、「月いちキネマ」の人数制限の緩和について、それから研修室で行われる行事イベントの告知の掲示についてなどの御意見をいただきました。

あとは、行事予定に休館日だけではなく、利用するいろんな団体の行事を入れてほしいという要望等が出ています。

一つ事務局側から質問ですけれども、3-2のところ各サークル周知のために云々とあるのですが、講習室前というふうな御意見をいただいておりますが、これは研修室でよろしいでしょうか。

○委員

研修室です。

○事務局

それでは、研修室という形に書き換えさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

以上、皆様の御意見を伺いたいと思います。

○議長

はい。では、ただいまの説明に対する質問、御意見がございましたらお願いします。はいどうぞ。

○委員

私は、図書館を本当に良く利用をさせていただいて、図書館大好き人間なのですが、研修室でいろんな講座等が行われている時に、本当にA4ぐらいの紙でぽつと講座について貼ってあります。今日は、こんな講座をやっているというのが、そこで改めてわかるのですが、昔は、前の図書館には、大きな立て看板があったのかなと思います。やはりちゃんと大きく書いていただきたいと思います。そこで、本当に興味があるようなら、図書館はオープンな場なのだから、ちょっとのぞいたりもするけれど、何かあの紙では、すごく拒絶され

ているような気がするので、もっとわかりやすい表示が欲しいと思います。私もホームページめったには見ないのですが、何かあるのかと思って行事予定を見たら、休館日の予定しか書いていないのです。

多分たくさんいろんな講座が、図書館をお使いになっていると思うのですが、そういうのがわかれば、もっと利用が増えるのではないかと思います。書かせていただきました。

○館長

御意見ありがとうございます。お申し出を受けまして、ポスターを貼るような台を用意して貸出しできるようになっていますので、それをゴロゴロと持って行ってもらい、各サークルでポスター等を貼って、御利用いただけたらと思っております。

○委員

みなさんに周知をなさったらいいですよ。今やっているのが何の会なのかとかかわるといいなど、そんなことをちょっと思いました。

○図書館職員

わかりました。

行事予定なのですが、委員の御指摘の話は、OPAC といって、図書館のシステムの方で表示されている休館日情報を見られているのかなと思います。ホームページのトップページには、今月の行事予定というページがありまして、そこには全ての部屋の利用状況とかも入っています。

前回の会議の時に、その位置がわかりにくいという御意見をいただきましたので、今は場所も変えまして、お知らせのところに毎月「New」という表示が出て来るような形で表示しております。

ぜひ御利用いただければと思います。よろしく願いいたします。

○議長

それと、この質問の中で、利用者懇談会ではどのような意見が出ているのかというのが出ていますが、図書館の方でまとめてありますよね。

○館長

まとめてございます。

○議長

そしたらそれをご覧にいただければ。

○委員

すいません。まとめてありますだけではちょっと回答が不十分です。私が書いている意見は、例えばどういう意見が出て、どう対処されているのかということを書いたので、何かまとめています、書いていますでは、回答にはならない気がします。

私は決して8人だから少ないと思っているわけではないのです。貴重な機会に時間を割いてお見えになる方が出される意見ですから、ヘビーユーザーの方もあれば、そうでもない方もおられると思いますが、これはすごく大事ななと思ったので、意見出すだけではなくて、その方たちがどういう対応されたのかなと思われているのではないかと思ってお伺いしたのです。

#### ○図書館職員

懇談会で出た具体例は、先ほども申し上げたように、その行事予定の位置がわかりづらいというところに関してはすぐ解決したり、他には、階段上がられてすぐのところのソファが2台置いてあるのですけれども、それも開館前に立って待っているのが辛いという御年配の方の御意見をいただいて、すぐに設置したりしております。パンフレットスタンドも図書館の外において、情報が入る前に取れるようにというところも解決しています。

あとは、昨年の利用者懇談会で図書館でも音楽を聞けたら良いという意見をいただきましたので、令和5年度は「ナナシマチ」という、県央連携の集まりの関連イベントとして、チェロを弾かれる田中雅弘さんをお呼びして、演奏会を開催しました。図書館で対応できるようなもので、経費とかもあまりかからず対応できるようなものについては、できるだけ実施しております。

#### ○委員

ありがとうございました。

#### ○議長

よろしいですか。それではこの7ページの上の方の3の図書館協議会の意見のまとめは、これでよろしいですかね。案を取ってもよろしいでしょうか。ではこれで公表させていただくことになります。

次の大項目4の説明をお願いします。

#### ○館長

#### 4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

4-1の①でございますけれども、地域（郷土）資料収集業務ということで、特徴的なコレクションとしましては郷土の資料、それから郷土の作家先生の作品を集めたコーナーというのがございます。

特に昨年度は、郷土の紙芝居の複製・製本・登録を行いました。以前、図書館利用サークルの「おはなしでんしゃ」が作られていた紙芝居があったのですが、一つしかなくて壊れてはいけないということで、複製を作成しております。

本日は、防府に関する紙芝居の複製をお持ちしましたので、後でよかったですご覧ください。防府の郷土の天神様とか、種田山頭火など、全部で五つ作りまして、貸出しをしております。3月末から6月末、3か月間で延べ22回の貸し

出しを数えております。

それから、特に図書館協議会の御意見で、上山満之進と三哲文庫の関わりというのをもうちょっとPRしたらどうですかという御意見をいただいたのですが、実は防府図書館案内、子どもさん用にリーフレットがあるのですが、この下のところに、三哲図書館の上山満之進の由来について書いてありまして、こういうものを手に取ってもらえたら、わかってもらえるのかなあというところがございます。図書館としては、子どもさんにも、こういう風にお知らせで努力しているところを、御承知おきいただければと思います。

#### ○事務局

今の件に付け足して御説明をいたしますが、子どもさん向けということであれば、以前もお話をしたかと思いますが、小学生の副読本の「のびゆく防府」の方にも三哲文庫と上山満之進のことが書いてあったり、図書館の変遷について書いてあったりしますので、子どもたちは小学校で一度、その話は聞くのかなというところがございます。

それでは、図書館協議会の意見としましては、**資料2**の8ページをご覧ください。大項目4については、先ほどもちょっと見せていただきましたが、郷土紙芝居の複製の作成による貸出開始や、防府資料の定期的な刊行について、郷土の歴史や文化に関わる事業を積極的に行う図書館として、図書館が評価を得ております。あとは姉妹都市などの交流や展示等に対して、市民への啓蒙がされていることなども評価を受けております。

上山満之進や三哲文庫など地域の歴史を次世代に語り継ぎ、PRすることが望まれていると思っております。

また、郷土史、郷土文学の職員間、つまり、職員同士の知識の共有のための研修の充実が期待されているかと思っておりますので、そちらの方の意見を入れさせていただきます。以上、皆様の御意見を伺いたいと思います。

#### ○議長

ただいまの説明に対する質問、御意見ございましたらお願いします。

#### ○委員

一つは図書館年報の10ページに、ここには簡単に書いてあるのですが、今見せていただいた紙芝居5点を、図書館でサークル活動されている「おはなしでんしゃ」が製作されたということが素晴らしいなと思います。サークル活動の成果物を図書館が使ってらっしゃるという、業者が作ったものでも、図書館が作ったものでもなくということが、私は素晴らしいなと思っているので、ここを記載されればいいのかと思います。

それと質問を二つは、私が書いたのですけれども、地域(郷土)資料収集業務は具体的にどのような業務なのかということと、図書館年報には、独自の特徴

的なコレクションというようなことが書いてあって、それは具体的にはどういうものなのでしょうかといいるところです。年報の9ページに記載されておりますが、一つ目は、郷土資料・地域資料の収集業務といっても、行政資料も含まれるのかもしれませんが、前回も申し上げたとおり、今や紙媒体ではない物が多くなっているのです、どうやって集められるのか、何をされるのかなと思っただことが一点と、次は特徴的なコレクションというのが何なのかなと思ってお伺いした次第です。

#### ○館長

まず、防府市や山口県に関する資料というのは、集めておりますのと、郷土の県下の有名な作家先生、山根基世氏、那須正幹氏、高樹のぶ子先生、それから、伊集院静先生の本につきましては、棚を設けておりまして、郷土の資料の棚ということで、展開をしています。

#### ○図書館職員

年報とかには記載されていないのですけれども、防府市の昔の市長から満州に関する資料をたくさん御寄贈いただいて、それを図書館で資料としてコレクションしているのです、満州の資料を理解できるようなものは積極的に購入して集めるようにしております。

#### ○委員

それは、特徴的なコレクションということですね。もうひとつは、地域資料収集業務はどんなことをなさっているのかなと思います。

#### ○図書館職員

一般的に流通している山口県に関する図書は、通常通り購入しているのですけれども、あと個人の方がこういうふうな本を出しましたよ、連絡先はここですよというようなことがあれば、連絡して購入なり、御寄贈のお願いなりをするということは行っております。

あと、防府史談会が「佐波の里」を毎年出版されているのですけれども、こちらにも御寄贈いただいて、コレクションにしております。

#### ○委員

防府市に関することは防府図書館でなければと思います。山口県立図書館も収集するとは思いますが、やっぱりこれは一番地域資料というのが肝かなと、中心になるのかなと思います。

先ほど申し上げたように、行政資料も郷土資料に入ってくると思うのですが、前に申し上げたように県立図書館も、ネット上の資料もプリントアウトして製本して提供する形に持ってくるまで実際されております。この前の会議の時に、それをおっしゃったので、そのぐらいの覚悟はあるのかなと思っております。結構大変ですよ。ネット上の物を収集して、1人配置しなければ

ばというので、今じゃなくてもいいのですけれども、地域資料の中に行政資料も、含まれているのですよね。

○図書館職員

はい。

○委員

そうすると、紙媒体だけではないと思うので、ネット上のこととか、収集の仕方は、ただ収集しましたとか、データを持ちましただけじゃなくて、利用者に提供までしないといけないかなと思っています。

○図書館職員

今年度に準備中ではありまして、まだ市の方とも話をしていませんが、最近では、市で統計資料などはホームページ等でデータであげられていますので、そういったものを電子図書館でリンクを張って、すぐに見られるような形に整えたいなというところです。現在、館内では準備を進めているところです。

○議長

はい。具体的には図書館に行かれて、お聞きになってください。

それで上山満之進と三哲文庫の資料コーナー側の資料室が、館内に図書館内にありますが、陳澄波さんのレプリカの絵は、なんでしたかね。

○事務局

「東台湾臨海道路」です。

○議長

あの絵画の展示を台湾の方でされるということが新聞に報道されていましてね。

○館長

図書館にありますのはレプリカです。本物は山口県立美術館にありまして、台湾の方でお孫さんが美術展をするので、貸出してほしいということで山口にお越しになられたと聞いています。図書館にはお見えにはなりませんでした。

○議長

県立美術館にあるのですか。

○館長

はい。本物はそうです。

○委員

今日、1階の市役所入り口で複製を見ましたが、ずいぶん昔に図書館に飾ってあった本物を見ていたので、この絵だなと思って大変嬉しく思いました。複製でもいいので、ずっと市役所に飾ってほしいなと思っています。

○委員

複製って1枚しかないのですか。何枚もあるのですか。

○館長

市役所の1号館の1階にあるものは、4月に台湾地震がありましたが、台湾のために募金をしようということで、図書館のレプリカの写真を文化振興課の職員が撮りに来られたので、それをコピーされたもののようです。

はい。だから1階にあるものは、写真を貼ったパネルであって、本当のレプリカというものではないかなと思います。

○委員

この前、教育長が講演会をされていましたが、本物のレプリカは、絵だけじゃなくて、額も特別だということでした。

○事務局

はい。図書館にあるのは、額も木製で完全にレプリカでございます。ただ絵のところは、本当に立体的に見えるものです。油彩画の特徴であるマチュールという、でこぼこした部分こそないのですが、ぱっと見ると、でこぼこしているように見えるほど精巧に作られています。それが、図書館にあります。

今、お話に出てきている市役所の1階にあるものについては、パネルに写真が貼ってあり、完全に平面で、皆さんが触っていただいても大丈夫なものです。でも、ちょっと離れて見ると、でこぼこして見えますよね。図書館にあるのは本当に高性能なレプリカでございます。

○議長

はい。ぜひご覧ください。

それでは大項目4の図書館協議会の意見のまとめは、これでよろしいですか。

続いて5番をお願いします。

○館長

**5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館**

それでは5-(1)の②です。「地域文庫」、「貸出文庫」、団体貸出業務ということで、地域文庫は市内15ヶ所の公民館に本を置かせていただいています。200冊の図書を3か月に一回交換して、展開しております。それから、市内の小学校等に対して、貸出文庫を実施しております。

次に(2)他の図書館や博物館・美術館と相互協力については、①上から4番目ですね。山口県及び島根県の7市町村が合同で、7市町にある八つの図書館が合同で「ナナシマチの図書館をめぐるスタンプラリー」を、10月の終わりから12月終わりまで開催しておりました。7市町にある図書館に行ってみて、スタンプを集めた人がプレゼントをもらえるという企画をやっておりました。

このスタンプラリーの実施期間中に各館で何か特別なイベントがあったら、みんなで案内して、そのイベントに来てくださいということです。

特に令和5年度につきましては、11月26日の日曜日、チェロ奏者の田中雅弘氏をお迎えして、ブラウジングコーナーで、「詩とともに音楽を愉しむ」と題した音楽会を行いました。図書館員の司書が、「のぼら」の詩を読み、シューベルトの「のぼら」の音楽を流すというようなことをするものでございまして、大変に好評を得たと聞いています。今年も、先ほど田中氏にお願いして、11月4日に開催予定ですので皆さまよろしければ御参加ください。今年については、先ほど決まりましたけれども、昨年度は、とても喜ばれたと聞いています。

それから②、防府市文化振興財団内連携業務については、ソラールとの連携企画を開催しました。読書感想文なのですが、科学に関する課題図書がありますので、これについて、科学館の学芸員、それと図書館の司書、これが両方の視点から同じ本について、どういうふうに書いたらいいかというヒントをパネルにして展示しております。

御意見の中にも振興財団の中で、ソラールや山頭火ふるさと館との連携業務が素晴らしいというふうに評価をいただいておりますので、ありがとうございます。図書館から以上です。

#### ○事務局

まずは大項目5については一つ訂正がありまして申し訳ありません。資料2の8ページをご覧ください。

5-(1)の①、事業実施状況の中の①の上から三つ目に、「小学校(15校)で開催された選書会のためのリスト作成と図書貸出等、学校司書との連携を重視…」となっておりますが、「そ」を「を」に変えていただきたいと思います。「連携を重視」という文になります。

それでは次の9ページをご覧ください。大項目5の図書館協議会の意見(案)でございます。

学校図書館や学校司書への支援業務等と、先ほどから話に出ている財団内の連携のイベントなどの開催に対して、委員の皆様からは大変評価をいただいております。

他にも、館長から紹介がありましたが、昨年度開催のコンサート等についても、高く評価されております。同時に継続を要望されております。

今、館長から発表があったように今年も実施予定ということですので、御期待いただけたらと思っております。

それから財団内の連携以外の連携も望まれております。例えば、文化財郷土資料館等の他施設との連携も要望に出しておりました。皆様の意見を伺いたいと思います。

#### ○議長

それでは、ただいまの御説明に対する御質問、御意見がございましたら、お願いします。

この要望のところ、防府市文化財郷土資料館他の連携も進めてほしいというのがございますが、これは図書館利用者サークル連絡会で、郷土資料館の館長をお招きして、防府国衙のお話をされました。今NHKの大河ドラマで「光る君へ」をやっています、その中に清少納言が出ていますけども、清少納言が幼い頃に、ここにおいでになったという、そういったお話でした。図書館としてもそういった試みをしていただければと思います。

他に何かございますか。

でも本当に防府市文化振興財団の他の施設と連携したイベントは、防府図書館の特徴になりますね。

学校図書館との連携について、何かありますか。

○委員

学校図書館でボランティアをしておりますけれども、学校図書館では選書会とかをすごくやっていて、図書館も協力をしていただいていると思いますが、多分、学校図書館からの依頼が相当きているのではないかというふうに感じております。

その辺がすごく心配で、学校司書は、学校から依頼されたものを超短期間で、学校の先生は忙しいので、来週までにとかいうふうな依頼がとっても多いらしいので、それだととても大変で、学校司書も急ぎで図書館に駆け込まれていると思うのですけれども、そうすると図書館の職員も相当大変な思いをされているのではないかと思っております。

その辺で厳しい時もあると思うのですが、よく話し合って、うまく回って行って、この形が継続して良い方に向かうようにいってほしいなど、ちょっと遠くから見とります。

○議長

図書館からは、よろしいですか。

私も現役の頃、学校図書館の方から本日の午後に必要なので、リストを出してほしいという依頼があったことがありますが、こういうことがあると本当に困りますね。1週間前くらいにはせめて言っていただけるといいですね。

先生方もお忙しいのでなかなか難しいのかもしれませんが、よろしくお願いします。

9 ページの大項目 5 のまとめは、これでよろしいでしょうか。よろしいですね。では、これでいきましょう。

では次に、6 番をお願いします。

○館長

## 6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館

6- (1) の①、子ども読書活動推進業務ということで、「子ども図書館員」を募集しまして、1回は9人ずつで、子ども図書館員を2回行いました。

それから「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」を、防府市教育委員会と共催で行いました。

この調べるコンクールに先駆けて、どうやって調べるかを学ぶ「チャレンジ！調べる学習」を2回行っております。

それから「読書感想文教室」を2回、初日は小学校3年生、4年生を対象として、2日目は小学校5年生、6年生を対象として行いました。今年も開催予定ですが、応募はすごくたくさんありまして、抽選となっております。

「さんさんおはなし会」は毎月第3日曜日の午後行っています。それから、「クリスマスおはなし会」は12月17日に行いました。

次に、職場体験ですけれども、職場体験12件93名を受け入れております。社会科見学図書館を入れてはどうかという御意見もありましたが、実際に図書館見学については、昨年度、7件で434人の方を受け入れております。

さらに、いろいろなところへ絵本の読み聞かせのために職員を派遣しております。

次に(2)の①、ボランティアとの連携・協働業務ですけれども、おはなし会や研修会において、図書館員が本の紹介のブックトークを行っています。

それから、学校ボランティアの本の修理講習会に職員を講師として派遣しております。

委員から御意見をいただいた中に、社会科見学や職場体験がありましたけれども、こういったものはできる限り、お断りすることなく受けておりまして、職場体験としては総合支援学校のお子さん達も、個人に合わせた形でプログラムを組んで、受け入れを行っているのが現状でございます。

### ○事務局

**資料2**の11ページをご覧ください。

6- (1) 「図書館を使った調べる学習コンクール」に対して、優秀な作品の応募があるが、課題としては、コンクールへの理解を学校の先生に広げる必要があるとの御意見が挙げられております。なかなか作品数が伸びない中で、その辺の御意見だと思っております。

それから、先ほど館長の方からも話が出ましたが、「チャレンジ！調べる学習」や「読書感想文教室」、「おはなし会」と子どもたちの意欲を高める様々なイベントの実施について評価をいただいております。

また、職員の出張や派遣により、絵本の読み聞かせやブックトークを行っていることに對しても評価されておりました、継続を望まれております。

一方で職員のオーバーワークを心配していただいております。

以上、大項目6については皆様の御意見を伺いたいと思います。

○議長

ただ今の説明に対する御意見、御質問がありましたらお願いします。

「調べる学習コンクール」は、上山賞を含めて、優秀な作品が出品されて本当に誇らしく思っています。昨年度は、中央のコンクールでも評価されていますね。

○事務局

そうですね。2点作品を全国コンクールに推薦させていただいて、ここに資料を持ち合わせておりませんが、小学校の方も中学校の方もどちらも一番下の賞でなくて、一つか二つ上の奨励賞と優良賞をいただいております。推薦した方としても、良い作品を送ることができたなと思っております。ひとえに小中学校の校長先生や指導していただく学校の先生たちのおかげで、いろいろと良い作品が出ていると思っております。ただ、数が増えないのが悩みですけれども、素晴らしい作品が出てきています。

○議長

審査員されておられる委員さんがおられますが、何か御意見がありましたら。

○委員

周知が行われていると思います。取り組む子どもたちも、わずかずつですが増えてきてはいると思います。

事前にそのような教室が行われていて、子どもたちが図書館を訪ねた時に的確に御指導いただけているということが、また子どもたちの励みになっていると思いますので、この夏休みも多くの子どもたちが図書館に来ると思いますが、ぜひよろしく願いいたします。ありがとうございます。

○議長

中学生の応募が少ないのですけれども、中学生は、やはり忙しいのですよね。

○委員

私も昨年度の様子がよくわかりませんが、そうですね、理科の自由研究の宿題はある程度出るのかなと思うのですが、それが図書を使って調べたかどうかということがなかなかわかりにくい。

それから、市の作品展の方に出品するというふうな関係もあって、それが競合してしまうところもあるのかなと思います。

各中学校に学校図書館の担当教員がいますし、チラシの方は各学校に配っていただいていると思いますので、また夏休み前ぐらいには、理科教員、それから、特に私が学校図書館部の部長ですので、学校図書館の担当者から理科教員に、働きかけてもらうように連絡をしようかなと考えています。

○議長

はい。よろしくお願いします。

○委員

調べる学習は、理科だけじゃなくて社会や国語が出ています。理科の科学展はちょっと理科苦手っていう子が、国語の知識だったり、社会の知識だったりを存分に活かして作品を出されているので、ぜひそちらの教員の方にも御協力いただけたらと思います。

○議長

はい。よろしくお願いします。他にはよろしいですか。

○委員

年報の11ページに、「ライぶらり」体験についての記載がありますが、この対象者は、子ども図書館員ということだったと思うのですが、この「ライぶらり」というのは、山口県立山口図書館が中心にやっていて、今、山口大学と山口県立大学もぼちぼち始めようかとしております。

図書館なんかでも始めたということで、体験をされた成果と言えるものかどうか分かりませんが、何か反応はありましたでしょうかということをお伺いしたいと思います。

○図書館職員

子ども図書館員での「ライぶらり」は、ここ2年ぐらいで始めております。これとは別に、職場体験などで来られた中学生、高校生、大学生なども日数によって時間があれば、お二人と職員何人かが入ってとか、生徒さんと一緒にやるというようなことをしています。こういう本の探し方があったのだなという御意見とか、みんなの前、または大人の前で発表するというところで緊張もするのですが、皆さん楽しそうに参加していただいているというところです。

特に、支援学校の生徒さんとかもそういったことをやってもらった際には、かなり自信がついたとか、先生がそのお話を聞かれて、今度学校でもやってみようということはおっしゃっていただいて、成果としてはあるのではないかと認識しております。

○議長

よろしいですか。では、11ページの上の方の図書館協議会の意見として、これもよくまとめてございますが、よろしいですか。

○館長

**7 障害者や高齢者に優しい図書館**

7番の(1)の①、障害者・高齢者への資料・情報提供サービスということで、特に、大活字本なども収集して展開しているのですが、2点目のところの郵送貸出についてです。障害がある方には、郵便の発送代、それから返してもらう料金は無料で郵送サービスを行っており、昨年度は21件提供いたしました。

それから(2)の①、郷土作家4名の先生の著作を収めたカセット音訳テープをデジタルデータに変換、そして編集した上で、電子図書館の音声資料として順次登録中です。令和5年度は、山根基世氏の2作品をデジタルデータに変換して、すでに電子図書館にアップしてございます。先ほど言いました、那須正幹先生、それから高樹のぶ子先生、伊集院静先生の作品につきましては、今準備中でございます。

特に委員の方々の御意見の中で、認知症関連などの対象者サービスの新企画望むということがございました。これについては、今年度のことになりまして、御紹介なのですが、「大人のくらし塾」で、先ほど電子図書館の音訳サービスや絵手紙をやりましたと言ったのですけれども、今年は、「大人のくらし塾」でいきいき健康に過ごそう、聞いて得する健康づくり講座、毎日をいきいきにすることで防府市の高齢福祉課の保健師さんや管理栄養士さんと呼ばまして、認知症予防ということで、御講演をいただく予定になっております。

更に9月が認知症月間、9月12日が認知症の日ということで、高齢福祉課の方から図書館とコラボしたいというお申し出をいただいております。展示コーナーで、認知症の本を紹介するとか、エントランスのところで、ちょっとした相談等の窓口を設けてはどうかというようなことを、今はまだ企画の段階でございます。お申し出を受けて、図書館としてはできるだけ、御要望にこたえてコラボしていきたいなと思っていますので、高齢者に対してはそういったこともやっております。

更に、障害者や高齢者に対しましては、いろんなサービスがございます。遠くにお住まい等で、図書館に来られない人に、移動図書館、それから電子図書館もありますし、デイジーというものもあります。そういったいろんなサービスがあるのですが、そのサービスが、対象の方々に届きにくいというのは承知してまいりまして、実は2か月に一回ある民生委員、児童委員協議会の定例の理事会が6月にあり、民生委員の会長や各地区の会長が御参加いただくので、そこで今のような障害者や高齢者の方々に対するサービスがあるよというのを紹介させていただきます。

そういったことで、図書館としましても、いろいろなサービスがなるべく届くように工夫はしております。

#### ○事務局

12ページをご覧ください。大項目7では委員の皆様から障害者や高齢者にやさしい図書館として充実してきているという評価をいただいた一方で、パソコンが使えるシニア層が増えているため、電子図書館等のPRの有効な方法を探してほしいという要望や、図書館の位置や場所がわかりにくく利用しにくいのではないかと、導入案内等、図書館アピールがあればよいという御意見をいただい

おります。

このほか、課題や要望についてもまとめられる内容をまとめさせていただき、新たなサービスの御提案もいただいているところでございます。

以上、大項目7について皆様の御意見を伺いたいと思います。

○議長

はい。では、ただいまの説明に対する御質問、御意見ございましたらお願いします。

カセット音訳テープのデジタルデータ化、その編集、電子図書館の音声資料として登録中ということなのですが、音訳テープをデジタル化するということは、図書館内に、そのための機器があるのですか。

○図書館職員

まず、「翠の会」が2000年代前半ぐらいに、4氏の著作物をカセットテープにする作業を行っておられて、かなりの本数を作っていただいております。それをデジタルにするにあたって、まずカセットの再生をするカセットデッキが必要です。今、カセットデッキがあまりないので、わざわざ購入してまでというところもありますので、これは個人のものを使用しています。それから、ノートパソコンが必要です。また編集ソフトは、フリーのものを使っておりますし、それを接続するケーブル類ぐらいは購入しておりますが、ほとんど経費はかけておりません。

私が担当しているのですが、日常業務の中で、コツコツと手作業でやっているところです。90分テープに収録されているものを、まずデジタルのパソコンの中に読み込んで、それをさらに作品ごとに切って、電子図書館の方に上げていきます。あまり長いと聞くのが大変ですので、だいたい30分から長いもので50分ぐらいにして、1作品ごとタイトルをつけてデジタル化している状況です。このような工程がありますので、少し時間はかかるのですが、せっかく作ってもらったものでも、カセットテープだと劣化してしまうので、コツコツと作業をしています。ただ、現実問題としてデジタルにしたからといって、元々のカセットの音質が良くなるわけではないので、たまにはブツブツ音が入るところもありますが、なくしてしまうのはもったいないので、少しずつ続けていきたいと思っております。

○議長

貴重な試みですので、ぜひ継続していただければと思います。何か他に御意見ございますか。

時間が押してきましたが、この12ページの図書館協議会の意見、これによろしいですかね。

では、これで公表していただくということになります。

全体を通して御質問、御意見ございましたら、まだ御意見出されてない、委員さん何かございましたら。

○委員

最後のところになりますけど、図書館の位置や場所がわかりにくく利用がしにくいというところで、他の市町村の方に防府の図書館に来て、お話会がある時に、どこにあるのかとか、建物の3階ってどこから入るのかがあるの、その辺をもう少しわかりやすくしていただける工夫があるといいなと思います。何か考えていらっしゃるがあれば、お聞きしたいと思います。

○議長

他の委員さんも前から言われていますね。

○委員

幸せます通りという看板はよく目立つのです。図書館とか支援センターがここにあるという方が、私は大切だと思います。意見の相違ですけど、もったいないですね。

○委員

駐車場に関しても、そこに行くという表示も難しいですし、3階からは全然わからないですよね。確かに入る所に図書館か何かが小さくあるのですが、その辺は何か工夫があればと思いますね。

○委員

私もちょっと書いたのですが、2階の階段を上がるところに、吊り看板を設置して、こっちから3階は図書館という、入り口の表示もあればいいなと思いますね。あそこに行っても図書館の図の字が見えない。エレベーターのもすごく分かりづらい。

○委員

何年前かに要望したのですが、私が図書館に見に行ったら、出来そうになかったの、却下したのですが、入った時に図書館の窓がありますよね。あそこに防府図書館というのを貼ったらいと思って見に行ったのです。あれが二重窓になっていて、シール等が貼れなかったため、却下したのです。あの場所に防府図書館と貼ってもらったら、1階の広場に入ったと同時に、3階の上の窓に見えるからということで、4~5年前のことです。駄目だったので、ちょっと考えてほしいなと思います。

○委員

私も車であちこち行くと、他の図書館は、電信柱のところや信号のところにも、ここが図書館です、とかって矢印が書いてあるの、と思うのです。私は全然違うところの図書館でも、ちょっと寄ってみようかしらと思うぐらいの図書館好きなのでございます。無料で読めるからとか、そんなことはないのですが。

防府も本当に、図書館はこちらです、子ども支援センターはこちらです、という看板があれば良いと思います。幸せます通りの看板はいりません。

○議長

はい、御検討いただければということで、よろしく申し上げます。

○委員

年報の 39 ページに、職場体験・図書館見学・総合学習と職場体験実績となっているのですが、元私がいた山口県立大学 3 年生については、図書館実習じゃないですかね。よくわからないのですが、司書になるための資格を取りに来たのではないかなと思いつつ見ました。ただ単に、見学とかいう意味じゃないような気がするの、別枠じゃないかなと思いつつ見ました。今は、私が担当しておりませんので、御確認をよろしくお願ひいたします。年報の 39 ページですね。山口県立大学 3 年生が、多分 5 日間ぐらひやるのは、実習ではないかと思うので、ただ単に見学しに来ましたというものではないと思ひます。ちょっと別枠ぐらひの話なのかなと思ひます。

○図書館職員

表の中では職場体験実績という方に入っているかと思ひます。

県立大学の生徒さんは、インターンシップ協会というところを通じて、インターンシップとして来られております。

○委員

そうですね。図書館実習ではなくてインターンシップとして来ているということですね。

○図書館職員

そうです。

○委員

わかりました。では、このままで結構です。図書館実習の時は、受けられる場合は別枠も御検討いただければ。

○図書館職員

そうですね。今まで私が知る限り、県立大学さんの司書としての実習はありません。

○委員

山口大学は。

○図書館職員

山口大学は、先生が一緒に来られたことはあります。

○議長

それでは最後に、その他の項で何か事務局から。

○事務局

今後についてですが、第 2 回目の会議は、今年度の図書館事業の中間報告について、先ほどから館長からも今年はいろいろと、こんなことをやりますという御報告が出ておりますけど、それについて協議する会議を 10 月頃に開催したいと考えております。

それから、現在公募委員として就任しておられる、委員のお二人につきましては、9 月末日をもって任期が満了となっております。

○議長

はい。本日は長時間、熱心に協議していただきましてありがとうございます。令和 6 年度第 1 回目の会議ということで、令和 5 年度の図書館事業実施状況について説明を受け、評価について協議を行いました。

防府図書館が、今後とも、生涯学習の中核施設、街の情報拠点として、ますます市民にとって魅力ある施設となることを期待しております。

これをもちまして、本日の議題については全て終了いたしました。ありがとうございました。